

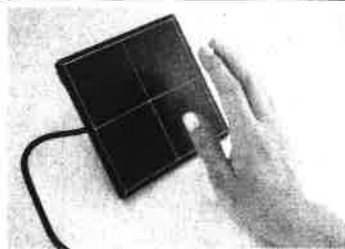
## 方向も検出、近接センサー

# 協働ロボ向け低価格型

ワコーテック

ワコーテック(富山県高岡市、岡田和広社長、0766・24・8011)は、物体が近づく方向を検出する近接センサー(写真)を開発した。物体が近づいているかだけでなく、近づく方向を検出できるため、産業用ロボットのポティーやアームに装着すること

シアへの海外展開を検討するほか、セキュリティーなどの機能強化にも取り組む。



で、回避行動が取れる。量産時の価格は5万円以下(消費税抜き)を目標とし、産業用やサービス、医療・介護用など各種ロボットで機能安全や回避行動を付加するための需

要を見込む。

協働ロボットの機能安全用ではアームに取り付ける力覚センサーもあるが、台座部分に取り付ける場合には検出荷重が大きくなるため、価格も高くなるという。今回のセンサーはフレキシブルプリント配線板(FPC)でできているため、量産時には低価格化が可能。ロボットの円筒面に巻き付けたり、カバーで覆ったりもでき、設置性に優れる。